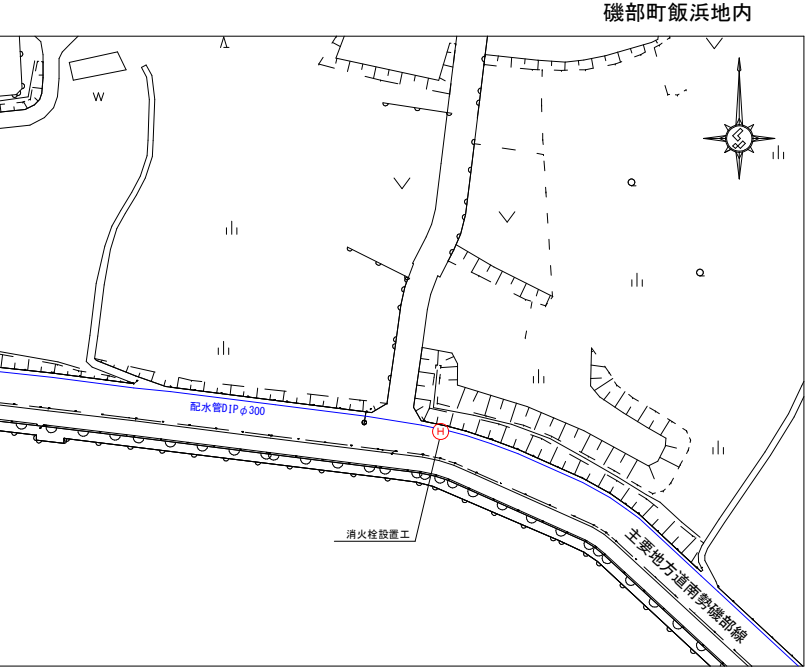


工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各地内		
図面の種類	位置図		
縮尺	-	図面番号	1
志摩市上下水道部			

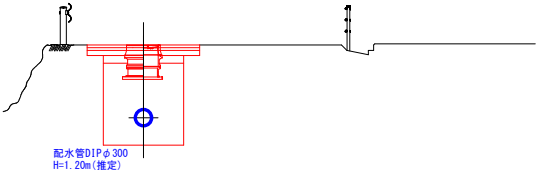
平面図

S=1:1,000



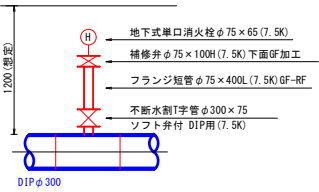
横断図

S=1:100



管割図

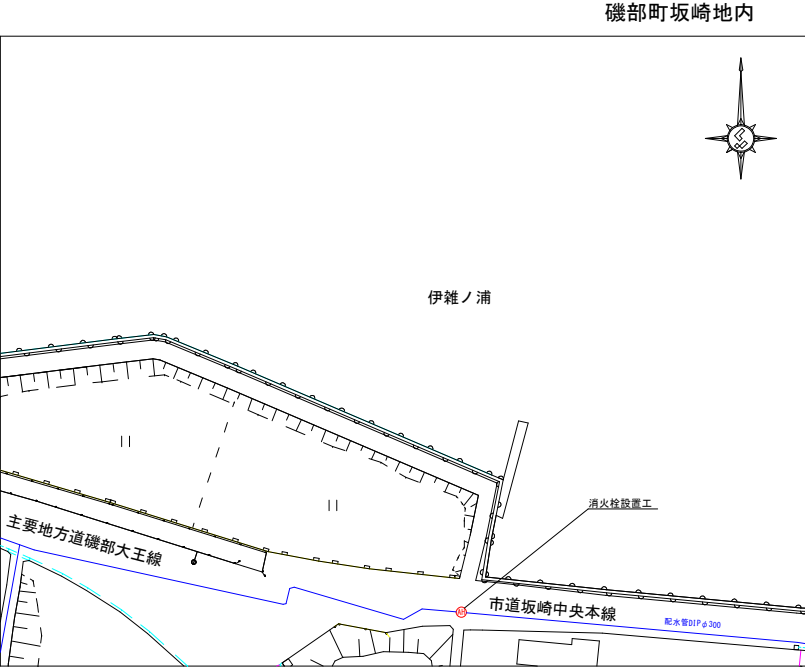
S=Non



*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

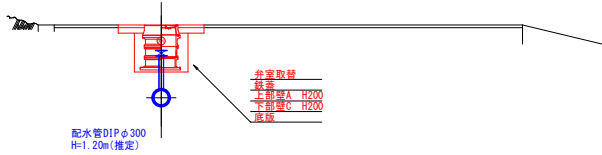
平面図

S=1:1,000



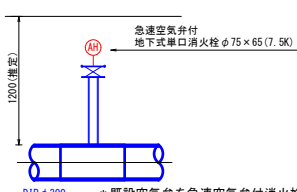
横断図

S=1:100



管割図

S=Non



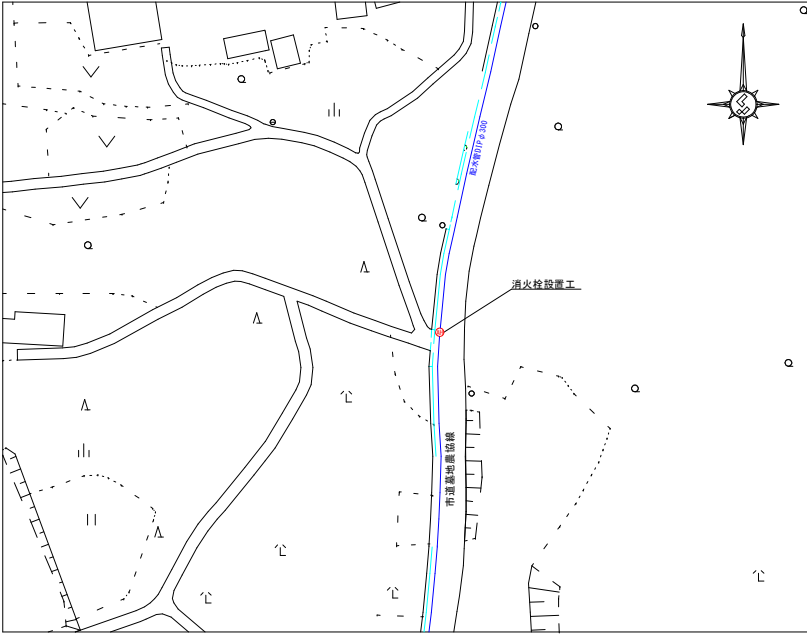
*既設空気弁を急速空気弁付消火栓に付け替える。
*既設空気弁室については、撤去の後、新たに消火栓用
弁室を設置する。既設弁室 H=875mm

工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	2
志摩市上下水道部			

平面図

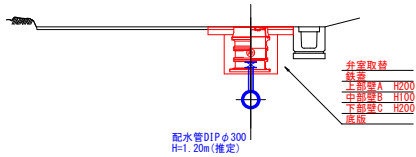
S=1:1,000

阿児町神明地内①



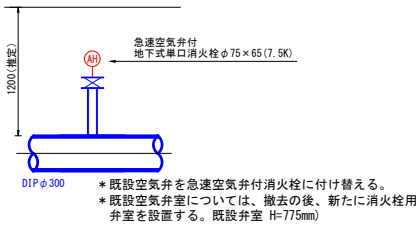
横断面図

S=1:100



管割図

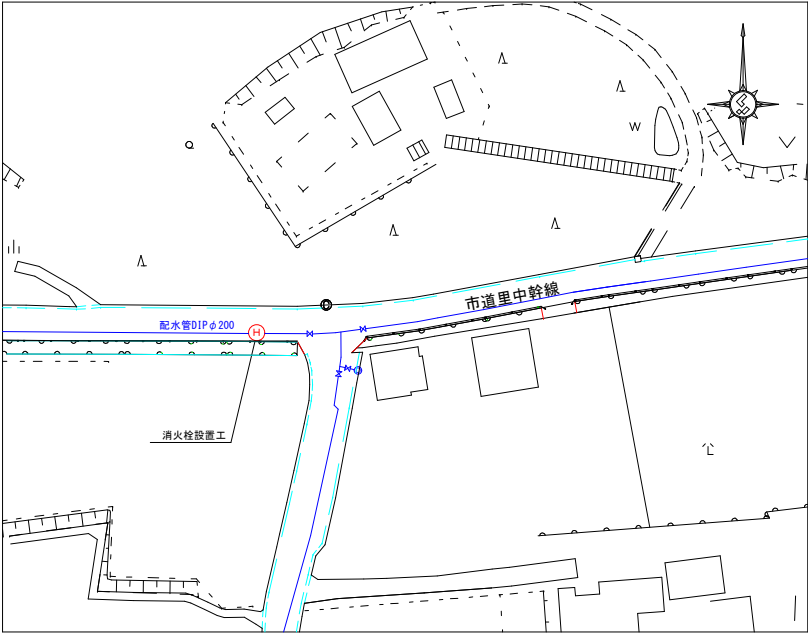
S=Non



平面図

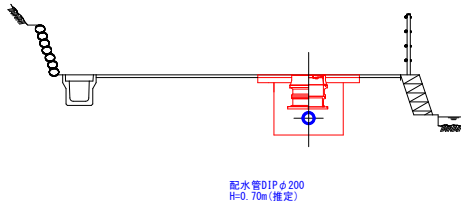
S=1:1,000

阿児町神明地内②



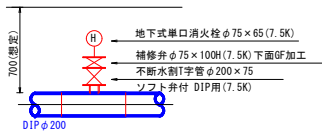
横断面図

S=1:100



管割図

S=Non

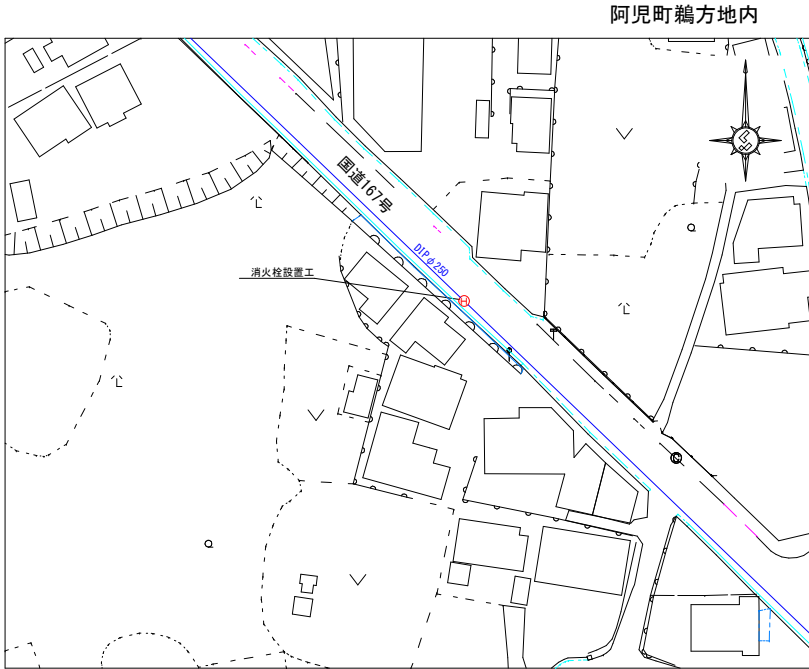


*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	3
志摩市上下水道部			

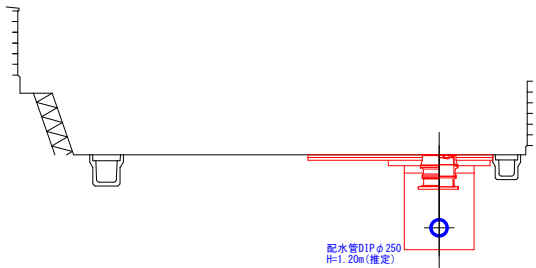
平面図

S=1:1,000



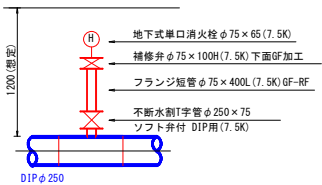
横断図

S=1:100



管割図

S=Non



*各埋設管の位置及び深さは想定値であるため、試掘にて確認すること。

工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	計画平面図(3)		
縮 尺	図 示	図面番号	4
志摩市上下水道部			

S=1:50

工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	土工標準図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	5
志摩市上下水道部			

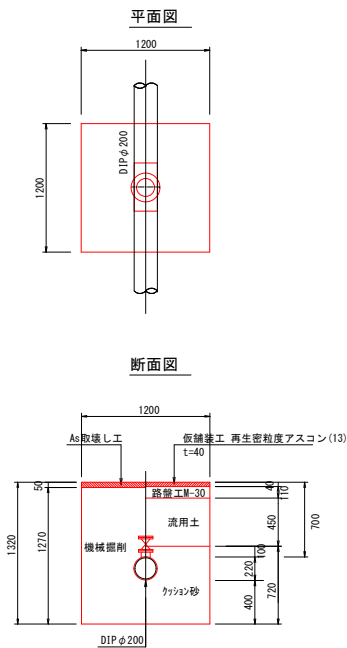
土工標準断面図(2)

S=1:50

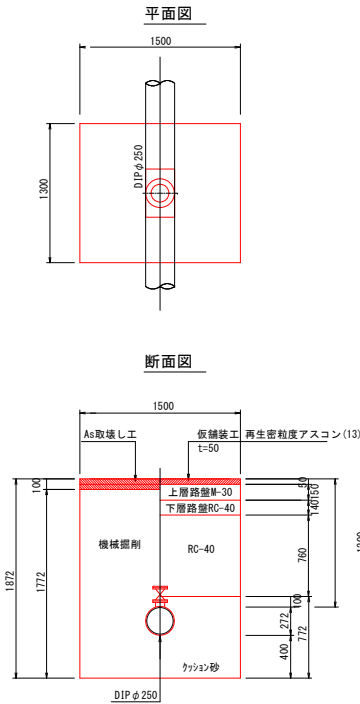
不断水分歧工

試掘工

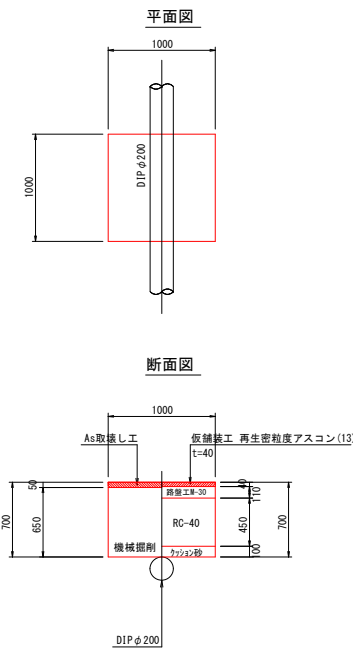
阿児町神明②



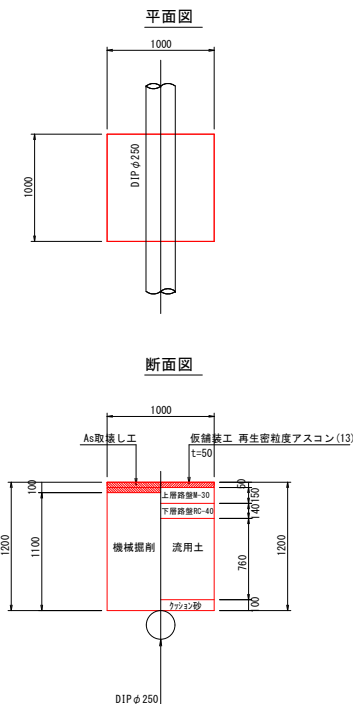
阿児町鵜方



阿児町神明②



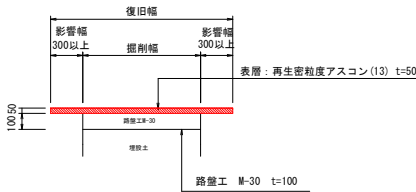
阿児町鵜方



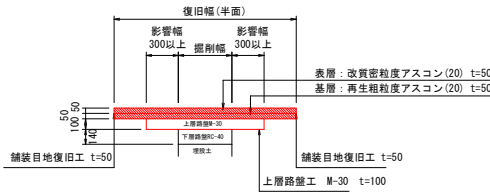
路面復旧標準図

S=1:50

阿児町神明②
(市道里中幹線 W≧5.5m)



阿児町鵜方
(国道167号[車道部])

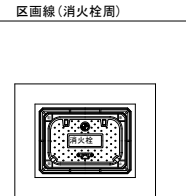
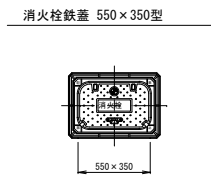
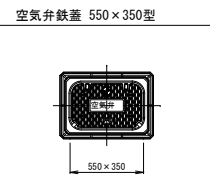
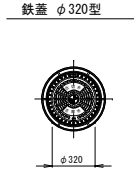
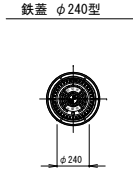
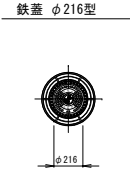
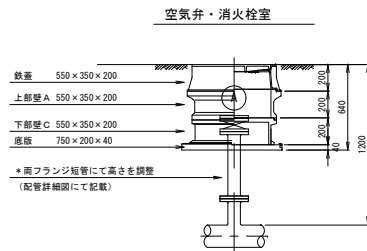
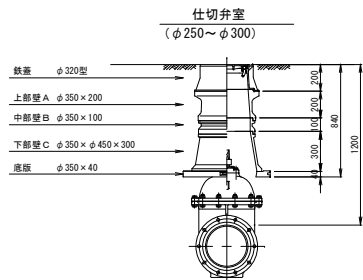
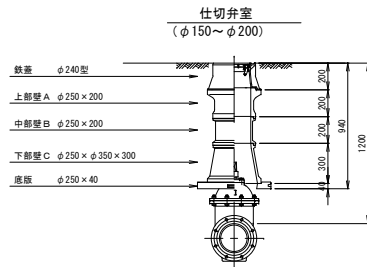
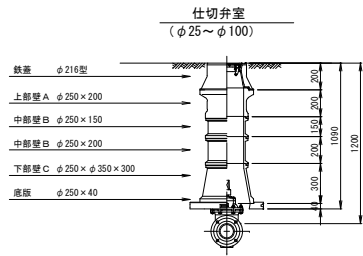


* 縦断方向の復旧延長は3m以上とする。

工事名	令和5年度 消火栓設置工事 (阿児町・磯部町)		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	土工標準図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	6
志摩市上下水道部			

弁室据付標準図

S=1:20



消火栓蓋はカラー塗装とする。

消火栓周りに区画線 (厚15cm:黄) を布設すること。

仕切弁室 (φ25~φ100)

H	鉄蓋 φ216型	上部壁 A φ250×150 φ250×200	中部壁 B φ250×100 φ250×150 φ250×200 φ250×300				下部壁 C φ250×φ350×200 φ250×φ350×300		下部壁 A C φ250×φ350×150 φ250×φ350×300	底板 φ250×40
500	●	○							●	●
600	●	○							●	○
700	●	○	●				●	○		●
800	●	○	●							●
900	●	○	●	●	○				●	○
1000	●	○	●	○		●			●	○
1200	●	○	●	○		●	●		●	○
1300	●	○	●	○		●	●	○		●

仕切弁室 (φ150~φ200)

H	鉄蓋 φ240型	上部壁 A φ250×150 φ250×200	中部壁 B φ250×100 φ250×150 φ250×200 φ250×300				下部壁 C φ250×φ350×200 φ250×φ350×300		下部壁 A C φ250×φ350×150 φ250×φ350×300	底板 φ250×40
600	●	○							●	○
700	●	○							●	○
800	●	○	●				●		●	○
900	●	○	●						●	○
1000	●	○	●	○	●				●	○
1200	●	○	●	○		○	●		●	○

仕切弁室 (φ250~φ300)

H	鉄蓋 φ320型	上部壁 A φ350×150 φ350×200	中部壁 B φ350×100 φ350×150 φ350×200 φ350×300				下部壁 C φ350×φ450×200 φ350×φ450×300		下部壁 A C φ350×φ450×150 φ350×φ450×300	底板 φ350×40
700	●	○							●	○
800	●	○							○	●
900	●	○	●				●			○
1000	●	○	●	○				●		○
1100	●	○	●	○	●			●		○
1200	●	○	●	○		●		●		○
1300	●	○	●	○		○	●	●		○

空気弁室 (単口用)

H	鉄蓋 550×350×200	調整リング 550×350×50	上部壁 A 550×350×200	中部壁 B 550×350×100 550×350×200	下部壁 C 550×350×100 550×350×200 550×350×400			下部壁 A C 550×350×200	底板 750×200×40
700	○	○	○				○		○
800~	○		○				○		○

消火栓室 (単口用)

H	鉄蓋 550×350×200	調整リング 550×350×50	上部壁 A 550×350×200	中部壁 B 550×350×100 550×350×200	下部壁 C 550×350×100 550×350×200 550×350×400			下部壁 A C 550×350×200	底板 750×200×40
700	○	○	○				○		○
800~	○		○				○		○

注：土壌りH=800以上の消火栓・空気弁室については、両フランジ短管にて消火栓・空気弁（補修弁含む）の設置高を調整するため、弁室の高さ(底高)は補修弁の下あたりになるように調整すること。

注：標準図の組合せは標準であり、設置する仕切弁のボルトナットが見えるように調整リング等で調整すること。
鉄蓋は、市名・市章入りとする。
レジンコンクリート製とする。

(参考)

工事名	令和5年度 消火栓設置工事		
施工箇所名	志摩市 阿児町・磯部町 各 地内		
図面の種類	弁室据付標準図		
縮 尺	図 示	図面番号	7
志摩市上下水道部			